

千葉大学医学部附属病院で治療された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024 年 9 月 12 日

婦人科

婦人科では、「当科におけるロボット支援子宮全摘術の治療成績の後方視的研究」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2018 年 1 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間にロボット支援下子宮全摘術を行った患者。

1. 研究課題名

「当科におけるロボット支援子宮全摘術の治療成績の後方視的研究」

2. 研究期間

2024 年承認日～2025 年 12 月 31 日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです

3. 研究の目的・方法

当院は特定機能病院であり、患者様に高度な医療を提供するという役割とともに、医育機関として医療者への教育の役割も担っています。当科では 2018 年に肥満女性の早期子宮体癌および子宮内膜異型増殖症に対しロボット支援子宮全摘術を導入しました。導入期（2018 年～2021 年）はメンバーと対象疾患を固定し、術式の標準化と周術期合併症対策を講じて、2022 年以降は術者育成のために執刀医を一定の経験数で交代させ、対象疾患も拡大しています（育成期）。また、当科では体位固定に Hug-U バック® を用いていましたが、麻酔導入後の体位確認に時間を要し、術中の身体移動もみられたため、2023 年 10 月から

単回使用型低反発素材のピンクパッド®を導入しています。

本研究の目的と方法は、当科で行ったロボット支援子宮全摘を振り返り、導入期と育成期、およびピンクパッド導入前・後の手術成績を比較することです。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている、手術記録、手術動画、年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙歴など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、血液検査値、病期、治療経過など

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：婦人科 助教 羽生裕二

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院婦人科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院

婦人科 助教 羽生裕二

043(222)7171 内線6611